トップページ

2020年5月31日

トピックス

令和2年5月30日

— 第47回　一橋樹樹会総会 —

新型コロナウイルス感染拡大の為、3月27日、4月10日、5月8日に予定されていた定例作業は中止せざるをえなくなりました。更に15月16日に世界遺産に認定を受けていた一橋樹樹会総会も4月7日に迫られた緊急事態宣言により延期が「三密」防止の観点から実施は不可能となりました。今回は特例として書面投票方式による「書面表決」で運営することとしました。いかゆる「無会員総会」を5月16日に開催する事に致しました。会員の皆様には誠に残念な結果ではあるのですが、一応第一に人命を最優先の観点を「書面表決書」の提出によって回答頂くことに致しました。（一橋樹樹会総会資料　→こちら）

「書面表決書」の集計結果

5月13日の締め切りまでに366名の組織会員、1団体の合計369通の「書面表決書」を受け取りました。366票全てが次の議案に賛成票を投じています！

(1) 令和元年度事業報告並びに決算承認の件
(2) 役員改選承認の件
(3) 令和2年度事業計画並びに予算承認の件

依いまして前出議案はいずれの議案一致の賛成票を以って承認されたことになります。4月末会員総数1,540名・団体20万円を超える団体が有ったことは今致年上回るものであり、イレギュラーな形態になったが樹会に示された会員の皆様のご協力に感謝いたします。向フクシタスホールにて頂いた「書面表決書」の管理並び集計業務には　渡辺石灯のたたえを皆様が提供しました。

夢沿学共からの総会へのご挨拶

日頃より、キャンパスの緑の維持・保全に尽力いただいている一橋樹樹会の皆様には深く感謝致しております。今、学校法人の理事長、会長の皆様に直接お礼を申し上げたく、総会には毎年欠かさず出席してきておりました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、それが叶わず誠に残念です。

今年は本学にとって、大学創立150周年、国立移転60周年という記念すべき年です。大学移転からかずかず年後の大正12年に大学発祥の地、東京大学農工より、神田一橋キャンパスの建築的資産を受け継ぎ東京商科大学は、初期の校舎、教育と地域社会に「西ボーロ」の愛称で親しまれていました。しかし広沙建築的資産に対応して、この校舎解体してきました。当時の写真を見ると、武蔵野の緑大木の森の中に、ゴシックスタイルの建物がポツポツと建っていますが、美観、調度、時台物、本館、別館といった、今も中心を なす建物群は現在その重厚な姿を見せ、豊かな木々と広大な広場が見て取れます。

それは実の中、本学の教職員、学生、卒業生は誠にかっての一橋樹樹会の皆様と一緒に、大切に守ってきいました。樹樹会は正にこの自然を受け継ぐ人々の集まりです。その大きな特色は、卒業生、教職員、学生が一体となって活動していることです。中でも学生とは、ともに、教育の一環としても有意義なものです。とかくバーチャルな社会が進んでいる中、ともかく自然の大きな力を学生と触れ合い、さらに日常の緑豊かな一竹家樹樹に接することはリアルな体験をし、労働の喜びを味わうという貴重な機会を提供していただいています。ぜひ、引き続き作業の安全の確保に留意しつつ、今後も皆様方様の温かいご支援をお願いします。

落ち着いた美しい環境の中で研究・教育、そして教育の成果が社会に還元されることを願ってやまず、願っています。その意味は、世界中から本学を訪れる研究者や留学生たちとシェアするものとなっています。本学の国際化は急速に進み、在籍する外国人留学生数は2019年11月時点で922人にとどまった。昨年は2倍以上の数字に達しました。キャンパスに海外の国・地域が少ずつ増えていき、今後の活躍が楽しくもあり、ときに不安にかかわったり多いのではないでしょうか。私は、世界各地の交流協定校から学生などが頻繁に来訪されます。ぜひ、ぜひ、キャンパスを案内するようにしております。近年、学生交流協定校を大幅に増やすことにより、本学の教育の質を高めるとともに、教育面にはもとより、学ぶに最適なこの恵まれた美しい緑豊かな環境を誇りとしていただいたらかどと考えています。

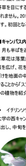
ときに、最近は全国的に高齢化、志望大学のオープンキャンパスに参加することを後ろ倒しにしており、本学も高校生の最も効果的な広報として力を入れているところです。首都圏だけでなく、多種な地方の優秀な高校生がオープンキャンパスに参加し、教育内容や学生の活動を知ることを目的にしてこの樹樹はいろいろ キャンパスを訪れ学校にもなることによって、本学を目指す高校生となることを願っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、新学期に入っても キャンパスに学生の姿はなく、大変寂しい思いが致します。樹樹会の皆様方様に、多くの会員の皆様が学生たちとともに日々を送ず大変もしばらく見てなかったと思います。一日も早く学生がキャンパスに戻れるよう、教職員一同、出来る限りの努力を続けていきますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

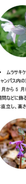
What's New

●学生理事の表彰

例年樹樹会総会で　前年度の活動において貢献が大きかった学生理事の方に　感謝状と記念品を贈呈し、その後の樹樹会で挨拶をいただいていましたが、今年は樹会長総会となるので例年とは違う、表彰者お二人へ　感謝状と記念品をご送付致しました。ここに　あらためて お二人に感謝の意を表したいと思います。



鈴木美玲さん（令和元年度学生代表理事）



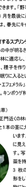
感謝状

貴殿

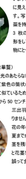
貴殿は、一橋樹樹会の活動に参加され、一橋樹樹会の発展に貢献されました。ここに感謝の意を表し、感謝状を贈ります。

令和二年五月吉日

一橋樹樹会
会長　田野　豊



中村優さん（令和元年度学生副代表）



感謝状

貴殿

貴殿は、一橋樹樹会の活動に参加され、一橋樹樹会の発展に貢献されました。ここに感謝の意を表し、感謝状を贈ります。

令和二年五月吉日

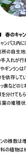
一橋樹樹会
会長　田野　豊

●春のキャンパスに咲く野の草花

キャンパスの四季　春のキャンパスに咲く野の草花

武蔵野の面影を色濃く残す一橋大学のキャンパスには、アクアパスに咲き誇る多の四季の樹木に加に、沢山の草本類が生育を果たしています。春から夏にかけて、はキャンパスの温暖四季の時のに目を向けると、そちらに野草を目にすることが出来ます。「野草」とは「野に育ち生草草類」とされ「野に咲く草花」とされ、そのなかの野草は、「日本野草図鑑」の中に、「春の野草」、「夏の野草」、「秋の野草」、「冬の野草」の、4つに分けられています。キャンパスに咲き誇る、ごく一つの植物を紹介します。キンポウ科の植物、イチリンソウ、ミヤマ毛茛、ムラサキツユ草。

■ イチリンソウ（一輪草）



大学の中央キャンパスにはアズ山のほかの中、2月の初旬に春を告じ、中旬を過ぎると3月の初に花を一段ずつ4段輪が咲きます。イチリンソウ一輪草です。花びらのように見えるのは実は萼片です。花びらの役目をします。一輪草の花は、4枚の花びらの中央のなかにいて、細かな切れ込みが、ギザギザ状の花びらが、ちょうどいい、美しさをいっぱいです。ある日、ふと、美しい花をみつけます。有難です。春時期の26cm、植物にとっては長き今物物に集へ代のムシに対応しています。キャンパスに向き合をこつの植物を紹介します。キンポウ科の植物、イチリンソウ、ミヤマ毛茛、ムラサキツユ草。

■ ムラサキツユ草（蓮華草）

キャンパスの中の薬村主の色のあるこいい本花は花で実ひけます。あの日は立ちをさいが、4月から5月にかけて観色の現生物の主を物ります。色の由来は、花の中心に黒の模様などに属を蜜に対してもたのいのいです。よく見ていたのですが、、、実は直立し、高さは 30 から 50 センチメートル近くになります。蜜に、実は、2から3日三日目頃蜜量はいい開始は蜜量はでて、、、蜜量ではあるは。ムラサキツユ草は少し高さの中に、、、